

必読文献特集 (2)

## 緑陰読書案内

### 一般教科

お待ちかね必読文献特集の第2号は、前号で予告した通り、一般教養書を中心に編集した。各教科の先生方が、夏休み中にぜひ眼を通して読んで欲しいという趣旨で推薦されたものである。夏休みといえば、クラブ活動や工場実習、その他、山や海へと、忙がしい毎

日を送る諸君たちではあるが、忙中閑あり、一刻の憩いの時に、一冊の本を繰く(ひもとく)喜びも、また学生時代なればこそである。身体的のみならず、精神的にも実り多い夏休みであるこのを祈る。

(李川 平一)

備考(対象学年・A教科に關したもの・B教科以外のもの)

\*印は図書館に所在するもの

教科	著者名	書名	発行所	備考
国語	中島 敦	李陵・山月記他(新潮文庫)	新潮社	山月記1年 李陵3.4年④

自らの才能を恃む余り、その才能を可能性のまま終らせ虎と化した詩人の苦悩を描く「山月記」、  
「史記」成立のドラマと匈奴に降った漢の勇将李陵の悲しみを通じて歴史というものを考えさせる「李陵」疑いを超えてひたすら師を慕う子路とその眼を通して見る孔子像によって「論語」を活きた世界を背景として読むことを教えてくれる「弟子」等を載せる。なお「弟子」については孔子の思想を理解するためにあわせて、岩波新書「孔子」(貝塚茂樹)を読むことをすすめる。

ワトソン 著 二重らせん タイムライフインターナショナル 1~5年B  
江上・中村共訳

若い二人の研究者がDNAの立体構造を解明するまでをその一人ワトソンが自ら綴った記録であるこの書は「研究」というものの魅力とすばらしさを読む者に感じさせずにはおかない。「研究」を志す全ての人にすすめる。

倫理・哲学	梅原 猛 共著 岡部伊都子	※仏像に想う 上・下(現代新書)	講談社	1~5年A
-------	------------------	------------------	-----	-------

たんなる美術作品としての仏像の紹介ではなく、日本人の思想の変遷をそのなかに読みとる手掛りを与えてくれる初心者向きの肩のこらない本。仏像の写真と説明文の対応が見事である、それぞれの寺院への交通案内もついているから、夏休み中に直接出掛けて行って、自分の眼でたしかめてみるのも良い。

中 村 元 訳    ブッダのことは—スッタニパーター— (岩波文庫) 岩 波 書 店    1～5年<sup>Ⓐ</sup>

仏像に刺激されて釈迦の教えを知りたくなった者はこの本を読むと良い。仏教の多数の聖典のうち最も古いものであり、歴史的人物としての釈迦の言葉に最も近い詩句を集めたものである。一般に考えられている(漢訳仏典から連想されている)近づき難い釈迦でなく、身近かに息づいている釈迦を感じさせる。

村 松 貞 次 郎    ※大工道具の歴史 (岩波新書)    岩 波 書 店    1～5年<sup>Ⓒ</sup>

昭和48年度、毎日出版文化賞受賞。道具というと、古びたもの時代遅れのものと思われ易いが、そういう「発想」自体に、現代機械文明に毒された日本人の姿をみることができ。著者は、道具の中の道具、道具の王者である大工道具の歴史を語りつつ、同時に、本当の意味での自然との対話、自然と人間との関わりかたについて、強く反省を求めている。とくに、第1章・道具再見は繰返し読んで欲しい。〔付、7月22日から、岩波新書が値上げになる。180円→230円 早急に入手することを薦める。〕

数 学 科    近 藤 洋 逸    新幾何学思想史    三 一 書 房    高 学 年<sup>Ⓒ</sup>

ユークリッドの第五章「与えられた直線上にない一点を通り、その直線に平行な直線は、ただ一つ存在する。」を疑う事から出発した非ユークリッド幾何学成立の歴史は、一巻の戦記物語と同じように波乱に富み、かつ感動的である。先覚者サッケリー、創始者ロバチェフスキーの違ひは、何者にもとらわれない自由な精神がいかに大切なものであるかを教えてくれるし、もう一人の創始者ポヤイト、息子の理論に抵抗し、負けていく父ポヤイトとの相剋は、現代の日常生活におきなおしてもあてはまりそうな親子の断絶をみせてくれる。

娯楽として読むのには堅すぎるかもしれませんが、時には専門の勉強をはなれて、観念の世界(本当はそうではないのですが)に遊ぶのもよいと思います。

ノーバート・ウィナー著    ※サイバネティックスはいかにして生まれたか    みすず書房    4～5年<sup>Ⓐ</sup>

天才教育を受けた数学者の野心的な自伝。数学を或る程度わかっていた方が面白さがわかる。

ノースロップ著    ※ふ し ぎ な 数 学    みすず書房    1～3年<sup>Ⓐ</sup>  
松 井 政 太 郎 訳

パラドックス等を集めたもの。級数の和を数列の極限として定義しないとおかしい事になる例が豊富にある。

J・A・コールマン著    ※相対性理論の世界    講 談 社    1～3年<sup>Ⓐ</sup>  
中 村 誠 太 郎 訳

相対性理論についてわかり易く解説したもの。

アメリカ数理科学    数理科学の世界    講 談 社    1～3年<sup>Ⓐ</sup>  
研究委員会編

数学の種々の分野のかんたんな啓蒙的解説書。

大島 泰郎 生命の誕生 講談社 1～3年<sup>ⓑ</sup>

どのようにして地球上に最初の生命が誕生したかという疑問はまだ十分に解決されていないが、その謎に迫る。

森 毅 ※現代の古典解析 現代数学社 3～5年<sup>Ⓐ</sup>

森一刀斎（著者の渾名）の「語る」解析学 一刀斎独自の数学観のもとに、微積分から関数論に至るまで語られている。

本書と教科書を読めば、解析学が分るだけでなく見えてくるのではないだろうか。

弥永 昌吉 数の体系（上）（岩波新書） 岩波書店 1～5年<sup>ⓑ</sup>

「何故、 $2 + 2 = 4$  だろうか？」これに答えるには、何を無前提に認めればよいか（何を公理とすればよいのか）、これが大きな問題である。本書は集合の立場からこれに答える現代数学への本格的入門書。

物理科 ヤ・エム・ケリフェル著 ※熱とは何か 東京図書 3 年<sup>Ⓐ</sup>  
豊田博慈著

熱理論を歴史的に考察し、現代的な熱理論へと導いている。高校程度の物理を終った者に対する副読本として適当である。

都築 卓司 マックスウェルの悪魔、確率から物理学へ 講談社 3 年<sup>Ⓐ</sup>

統計力学の基本的な考え方を、マックスウェルの悪魔という物理学の一つのパラドックスを介して時に逆説的に眺めてみようというのが骨子である。

英語科 Faraday 著 The Chemical History of a Candle 研究社 3～5年<sup>Ⓐ</sup>  
佐山栄太郎訳注 (ローソクの科学)

本書は19世紀の科学者ファラデーが、ローソクが燃えるといふというありふれた現象を記述しながら「燃焼」という化学変化の過程を一般の人びとのために平易に解説したものである。内容は簡単であるが、この本を熟読すれば自然の事象を説明したり、論理的思考を展開したりするのに、英語という言語がいかに適しているかがわかり、こうした長所を持つ英語を駆使する科学者の文体に一種の魅力を感じるはずである。この意味で本書は英語で書かれた自然科学関係の専門書に近づくためのよい手引となるであろう。

G.Orwell Animal Farm 南雲堂 1～5年<sup>Ⓐ</sup>

文筆家として円熟したジョージ・オーウェルが、第二次大戦の末期に、ソ連の共産主義社会体制を諷刺して書いた寓話小説である。動物の中でもっとも高い知能を持つ豚が革命を指導し、動物たちの富と労働を搾取していた人間を追放して動物による自治社会を作るという奇抜な発想のもとに書かれたこの小説は平易かつ明解で、スウィフトに劣らぬ諷刺家オーウェルの明晰さを十分にうかがわせるものである。だれもが絶賛する現代

英文学の傑作である。

渡辺 照 広 外国語の学び方 (岩波新書)

岩波書店 1～5年㉔

外国語を修得することは難かしい。科学的なデータによれば言語修得の能力が最高に達するのは十歳以前であるという。そうすると中学時代になって外国語を習いはじめるわれわれは、自然の能力の下降線に逆らって高いところに登ろうとする必死の努力をしていることになる。遅々とした進歩にしびれを切らして、一夜にして「外国語に強くなる」近道を教えるものに飛びつきたい気持になるのは人情であろうが、そういう即席的效果を教える処方箋はごまかしが多いのである。艱難をもとにして、ついに頂上をきわめた人の体験記でなければ信用できない。本書は言語学専門家の体験記であるとともに良心的な教訓書である。こうした本から不利な条件で語学を学ぶ道すがらにはげましを得たいものである。

泉 井 久之助 ヨーロッパ言語 (岩波新書)

岩波書店 1～5年㉔

われわれが日本語の次に親しい英語はもろろアインド、ヨーロッパ語族に属するが、ヨーロッパ言語の中で、もっともヨーロッパ語族からぬ言語である。というのは英語のみが言語における無用の長物とうべき名詞の格変化や性別をいちやく捨てて、語形変化の単純化を高度になしとげたからである。英語における語形変化の単純化は同時に表現面で一語の担う意味内容の重荷を極度に軽減し多くの語にそれを分担させるという作用を通じて、語相互の関連性の複雑化をすすめた。本書を通じて、われわれがはじめて接する外国語である英語がそういう特徴をそなえること、また英語の世界の言語における位置、その背景となる西欧語の歴史的発展、世界的分布など正確に知ることができる。

北 沢 孝 一 Stories from the Bible  
(聖書物語)

研 究 社 1～3年㉔

西洋の文学や西洋人の思想の根底にあるものはキリスト教と聖書である。聖書全篇にわたって知識を持つことが望ましいが、少なくとも本書の中に採られたもののような、人人が誦んでいるほどの有名な箇所は味読する必要がある。

Conan Doyle著  
土井俊次郎訳注 The Speckled Band (またらの紐)

研 究 社 3～5年㉔

不朽の名探偵シャーロック・ホームズを創造したコナン・ドイルはエドガー・アラン・ポーの亜流であり、その作品には文学的価値がないという非難をうけている。しかしドイルは才智だけ、やや高踏的であったポーが創設した推理小説というジャンルに、一般の人々に親しめる形のものを加えることによってそれを大衆化した功績があったといえよう。フランス的な理智派の名探偵デュパンに比較すると、ホームズは情況証拠を重んじ帰納的推理に傾く点きわめて英国的な探偵である如く、庶民的でしかも品性の高い文体をもつドイルもきわめて英国的な作家である。彼の物語の中から単なる推理の興味のみならず、ロンドンを中心とする古き良き時代の英国の自然や世相のたくみな描写をも鑑賞することができる。

Lamb 著  
富原・勝田注 Tales from Shakespeare I, II

研 究 社 3～5年㉔

シェイクスピアの有名な劇のいくつかを青少年のために愛情をこめて物語の形に書き直したラムの名作である。ほとんどラムの創作と言ってもよいほど、人情の厚い、清純

なものを愛するラムの作風がこれらの中ににじみ出ている。本書を読んで更に進んで原典（日本語訳でもよい）に取り組む熱意が期待される。

Stevenson 著 Tseasure Island I, II (宝島) 研究社 3～5年<sup>Ⓐ</sup>  
野尻抱影訳注

宝島はおそらく諸君が子供時代に楽しんだ物語の一つであろう。知っている物語もとの英語で読む楽しみは一層深いものである。宝島の主人公ジムの冒険心はスティーブソン自身の死に至るまで持ちつづけた冒険心と一致する。スコットランド生まれのスティーブソンは恵まれた才能と激しい情熱のために、病身ながら華々しい一生を終ったが、彼の作品は彼の「実生活に成しとげたものを幾重にも倍するスケールの大きいドラマと詩情にあふれている。宝島を読み終えたあと、「ジキル博士とハイド氏」、「幼年詩苑」なども読まれることをすすめる。

Dickens 著 A Christmas Carol (クリスマスカロール) 研究社 3～5年<sup>Ⓐ</sup>  
岡本圭次郎訳注

貪欲で冷酷、非人情で孤独なスクルージがクリスマスの前夜に三つの精霊に見舞われ自分の過去、現在、未来の姿を見せられて、その夢からさめるとたちまち慈悲にかい善人になるという話である。もちろんこんなことは現実にはおこりえない。作者ディッケンズ自身それを十分知っていたにちがいないが、あえてこうした物語を書いたのは勧善懲悪の意図からではなく、理想的世界を描き出したい一心からであったと思われる。作者のそういう衝動の原因については触れないが、この小説の魅力が詩人の魂をもつディッケンズの生き生きとして鼓動するばかりの描写の力によることを付け加えておこう。前夜の霧の深いロンドンの町の様子、翌朝の晴れ晴れとした大空に教会の鐘が鳴りひびく場面など、ディッケンズの描く光景はふしぎな力で印象を焼きつける。

久保田正次郎訳注 Stories from Cuore (クオレ) 研究社 1～5年  
寺西武夫訳注 Stories from Andersen (アンデルセン童話集) " (特に1,2年)

外国語から英訳された平易な物語の中からこの二篇を選んでみた。クオレはイタリアの国家統一時代から第一次大戦の頃にかけてのイタリア人の精神を反映する物語で、愛国主義的な教訓に満ちているが、どの物語も健康で、暖かく、人道的な、永遠の心の糧となるものばかりである。アンデルセンの童話は、作者の生い立ちを反映し、大きい夢と希望が美しく実現する過程を描くものが多く、若い心をひきつけるものである。

内田 義彦 社会認識の歩み(岩波新書) 岩波書店 3～5年<sup>Ⓑ</sup>

この本は社会学の本であるが、要するに、社会学とは、個人が社会の中でどう位置づけられるかということ を研究する 学問であると著者は述べ、その具体的な例を、ホップス、マキアヴェリ、スミス等の著作にとり、説明していく。こういう具体的な例から、本の読み方まで教えられる。

# 新着図書目録

図書館にのみ所在する図書  
を分類別受入順に記載

## 総記

東洋文庫 242	戦和国民誌集	平凡社
同 245	清代學術概論	同
同 246	アラビアン・ナイト7	同
	朝日新聞縮刷版 48-11	朝日新聞社
	同 48-12	同
日本の名著 29	藤田東湖	中央公論社
同 31	吉田松陰	同
	現代用語の基礎知識 1974年	自由国民社
朝日新聞昭和49年版	創刊50年記念別冊	朝日新聞社
	日本写真年鑑 昭和49年版	日本写真新聞社
森 浩 原編	日本十進分類法	日本図書館協会

## 哲学

志村達雄	現代思想の支配する階級ダイアモンド	同
日本の思想 6	歴史の思想集	筑波書房
同 19	吉田松陰集	同
田多井吉之介	ブルーバックス 225	人間はなぜ自殺をするか 講談社

## 歴史

論争日本史 2	鎌倉国家	有朋堂
高取正史	人類文化史 7	同
	変説する現代世界	講談社
総合講座	日本の社会文化史 4	同
同	同 5	同
芸能史研究会編	日本庶民文化史料集成	三一書房
	第5巻	同
草野日出雄	写真で見るいなき伝説	ほしエス
上田正昭	日本の歴史 2 大王の世界	小学館
井上光貞	日本の歴史 3 飛鳥の朝廷	小学館
小川 信	人物叢書 164 細川頼之	吉川弘文館
植田 幹	同 165 前田正名	同
多賀宗崇	同 166 源 頼政	同
早川庄八	日本の歴史 4 鎌倉国家	小学館
木村尚三郎	人類文化史 5	講談社
	西政文明の原像	同
ヨゼフ・ビタウ他	総合講座	同
	日本の社会文化史 6	同
	朝日新聞に見る日本の歩み	朝日新聞社
	(昭和元年-5年)	同
編者中央テレビ	福島県ミニ百科	福島中央テレビ
総合講座	日本の社会文化史 2	講談社

## 社会科学

大塚佐武郎編	都市開発講座	東局出版会
	1 地域社会と都市	同

同	2 開発の歴史と実態	同
同	3 都市開発の展望	同
佐々木秀彦他	オランダの総合開発計画	同
日本の民話 11	民衆の笑い話	角田書房
同 12	現代の民話	同
矢部六蔵	不動産の表示に関する	日本測量協会
	登記申請手続の実務	同
桂 正之	有斐閣 経済辞典	有斐閣
	体系 経済学辞典	東洋経済新報社

## 自然科学

岩波講座	現代物理学の基礎	岩波書房
	2 古典物理学 II	同
	4 量子力学 II	同
	5 同 III	同
	6 統計物理学	同
	8 物性 II	同
	9 生命の物理	同
矢野・伊理	グラフ理論とネットワーク	培風館
	基礎と応用	同
木村・渡辺	ゲーム理論と輸送問題	横書房
土原邦雄他	固体の熱力学	コロナ社
枝山四郎	切れない包丁	開発社
同	同	同
森原寿礼	ブルーバックス	同
	B-199 地震への挑戦	講談社
森本雅樹	B-202 電波でみた宇宙	同
梶谷・森	B-217 ゲームの理論	同
	入門	同
岩波洋造	B-208 植物のSEX	同
竹内 均	B-209 新しい重力理論	同
金井・島野	B-220 道と偶然の科学	同
岩波洋造	B-222 生命のデザイン	同
後藤憲一	B-223 なぜだろう?	同
竹内 均	B-224 大陸は移動する	同
Irwins Remson他	Numerical Methods in	同
Subsurface Hydrology	Wiley-Interscience	同
Peter, S. Eagleson	Dynamic Hydrology.	同
戸川野人	理論数値解析	サイエンス社
同	同	同
津田才夫	計算機による多変数問題	同
	の数値解析	同
同	同	同
大塚義夫	ソコロスキイ新型性力学	技報堂
公害と防災編委委員会		白英書房
	自然災害	同
	公害対策	同
	技術シリーズ	同
	編 7 地震・火山災害	同
同	同	同
同	同	同
塩山 啓	ブルーバックス B-231	講談社
	数と人間	同
同 外	ブルーバックス 232	同
	空間の征服	同
日本化学会訳編	海洋汚染とモニタリング	丸善
同	生物圏資源の利用と保全	同
同	環境科学と技術の進歩 1	同
同	環境浄化の化学	同
新数表シリーズ 1	双曲線函数表 (1)	コロナ社
	3 正規分布表	同

4 初等数値表 (1)	同	
6 常用対数表	同	
7 自然対数表	同	
2.2 sinx および cosx 函数表	同	
2.5 指数函数表	同	
2.9 三角函数表 (1)	同	
3.0 同 (II)	同	
数学新書 8.5	応用数学入門 1	東京図書
同 8.6	同 2	同
同 8.7	同 3	同
同 8.8	同 4	同
塩山 啓	初等整数論	日本評論社
数学リール 1	新微分方程式対話	現代数学社
同 2	複素数と複素関数	同
同 3	ベクトルから固有値問題へ	同
同 4	偏微分と極値問題	同
同 5	現代の統計解析	同
同 6	数理論理入門	同
同 7	離散代数と固有値問題	同
同 8	現代微積分	同
基礎数学選書 1	積分	裳華房
同 2	平面解析幾何学	同
同 3	幾分	同
同 4	立体解析幾何学	同
同 7	初等幾何学	同
鈴木七緒 他編	代数・幾何演習	共立出版
斎 一夫	数理論計概要	横書房
三村健彦編	大学演習 微積分学	裳華房
田中明彦	応用数学 一 数値計算法一	横書房
同	同 函数論・ラプラス変換	同
	フーリエ変換・不規則	同
	波	同
安達忠次	三角法・フーリエ解析の演習	南北出版
前田功雄他	統計学の数学的方法 1	東京図書
同	同 2	同
同	同 3	同
中森寛二他	曲線の科学	コロナ社
林 毅 他	変分法	同
岩波講座	現代物理学の基礎 1.2	岩波書房
	宇宙物理学	同
田川基三	原色日本羊歯植物図鑑	保育社
押田勇雄	基礎物理学選書 1.4	裳華房
	物理数学	同
竹内 均	大学演習 弾性論	同
	地図製作の手びき	日本測量協会
建設省国土地理院		同
	昭和40年式	同
	2万5千分の地形図図式規程	同
建設省国土地理院		同
	国土基本図式共通規程	同
	(昭和36年制定)	同
建設省国土地理院		同
	国土基本図式作業規程集	同
	(昭和36年制定)	同
尾崎幸男他	地図の見方と使い方	同

## 工学・技術

機械図集	ポンプ	日本機械学会
神保元二	生産は環境と調和できるか	日経工業新聞社

堀永太郎	機械設計とJIS	同	尾崎紀男	自動車工学	森北出版	滝澤貞一	パイプラインハンドブック	同
	コストダウンのチェックリスト	同	曾根健哉他	内然機関設計法	朝倉書店	浅間達雄他	くいおよびケーソン	同
服部敏夫	応用機構学	技報堂	大野泰雄	実用自動車工学 エンジン編	山海堂		基礎的設計計算例	
	JISハンドブック		富塚 清他	交通機械工学	同	川口昌宏	材料力学史	鹿島出版会
	鉄鋼 1973	日本規格協会	平橋 稔	自動車用機関計画法論	同	公害と防災編集委員会		白亜書房
	非鉄 1973	同	春日井博能	経営システム工学大系 日本生産性本部		自然災害	技術シリーズN1騒音、振動	
矢田平祐	実務者のためのブレーキ	鉄道出版社		2 調光—生産—在庫	同	同	同	同
関口・吉村	溶接と材質 上巻	産報	横山 保他	在庫システム	同	同	同	同
同	同 下巻	同		3 経営の価値システム	同	同	同	同
日本鉄鋼協会編	鉄鋼製造法	丸善	松田武彦他	4 経営組織のシステム	同	同	同	同
	第2分冊 加工1	同	横山 保他	同	同	同	同	同
	第3分冊 加工2	同		6 経営システム工学の	同	同	同	同
	第4分冊 処理・品質	同		ためのORの手法体系	同	同	同	同
山本三三三	材料科学のための物体の	誠文堂新光社	木村幸信他	7 経営システム工学	同	同	同	同
	変形学		大賀貞二他	のための要素	日刊工業新聞社	同	同	同
石井勇五郎	材料科学概説	朝倉書店	同	工業熱力学通論	同	同	同	同
岩巻 健	信頼を考える	学研社	同	同	同	同	同	同
	材料力学/設計		高多野皓一	内然機関概論	同	同	同	同
小美川真止	機関料 金属材料及び	海文堂	山本健一編	工業技術ライブラリー	同	同	同	同
	材料力学			15ロータリーエンジン	同	同	同	同
平 修二編	現代 材料力学演習(Ⅰ)	オーム社	同	同	同	同	同	同
同	同(Ⅱ)	同	同	同	同	同	同	同
中村・田中	機械の疲れ寿命算出法	美野堂	鈴木存義	改訂 最新溶接工学	コロナ社	西村忠彦	標準言語COBOL	共立出版
水野・安藤	大学課程 工業力学	オーム社	全田宗他	弾性論	同	日本工業立地センター		日本工業新聞社
幸田成康	金属物理学序論	コロナ社	井原敏男	熱工学概説	理工社/書		最新公害辞書	
小野木重治	他 材料工学	朝倉書店	中島平太郎	ブルーバックス	講談社		用水廃水便覧	
石森富太郎編	原子炉工学講座	培風館		B 218			環境六法 昭和49年版	中央法制出版
	1 原子炉工学基礎		佐藤 平	オーディオに強くなる	同		日本鋼構造協会編	
	2 放射線防護	同		B-219			コンピュータによる構造工学講座	
	3 原子炉物理	同		住まいの手帳			Aマトリックス法とコンピュータ	培風館
	4 熱・材料	同	佐川治男	同			1-1B有限要素法による構造解析	
	5 熱工学 構造設計	同		プログラム				
	6 計基制御	同		E 221			1-1-A 同	同
仙道正莊	歯車 第3巻	日刊工業新聞社		環境工学入門			同 B 同	
同	同 第4巻	同	C.S.Desai他	Introduction to the Finite Element Method			1-3-Aマトリックス法材料力学	同
同	同 第5巻	同		Van Nostrand Reinhold Company			同 Bエネルギー原理入門	
同	同 第6巻	同	Van Teehoo	Open-Channel Hydraulics			1-4-Aマトリックス算法概説	同
長谷川一郎	穴あけ加工便覧	産業図書		Mograw-Hill			同 Bマトリックス法振動および	
黒滝忠茂編	JISにもとづく仕上げ工	現工学社	C.V.Davis K.E. Sorenson.	同			応答	
	作法			Handbook of Applied Hy			A計算技術および数値計算法	同
窪田・相田編	シグ・取付具ハンドブック	朝倉書店		draulics, 3rd. ed.			II 1 B骨組構造解析	
猪瀬幸雄	応用弾性学	森北出版					A塑性・粘弾性	同
長谷川節	極とシエルの理論(上)	ブレイン図書		C.Allin Cornell. Probability,			II 2 B有限要素法のプログラム	
同	同(下)			Statistics, and Decision			デザイン	
成田謙之助	システム工学の手法	コロナ社		for Civil Engineers.			A弾性学の変分原理概論	同
近藤次郎	システム工学	丸善	Robert D. Kersten	同			II-3 B有限要素法と破壊力学	
池谷亀鶴	水力学	コロナ社		Engineering Differential Systems.			A動的応答解析	同
辻 茂	例題演習 流体機械	実業図書	Robert L. Nicholas	同			II-4 B熱伝導と熱応力	
妹尾泰利	内部流れ学と流体機械	実業堂		Mathematical Foundations			A平板の曲げ理論	同
工作マニュアル編集委員会	ジャハンマニエニト社			for Design, Civil Engi			II-5 Bマトリックス構造解析の	
	工作アニュアル⑧			neering Systems.			誤差論	
酒巻敏男	機械設計9	パワー社	R. V. Whitman	John Wiley & Sons.			I.手 続 機械工学大系6 弾性体の変形	コロナ社
不二越油圧研究グループ				Soil Mechanics.			同 同	同
	知りたい油圧 基礎編	ジャハンマニエニト社		土質工学会事業普及委員会			近藤・中田 弾性系の動的安定	同
同	応用編	同		土と基礎の設計計算演習	土質工学会		堀 幸夫 固体の力学	培風館
同	実際編	同		同			シリーズ	
竹中・浦田	油圧制御	丸善	土質工学会	同			1 粘弾性学	
	油圧工学ハンドブック	朝倉書店		土と構造物の動的相互作用			2 熱弾性	同
水野・小樽	コンピュータシミュレーション	培風館		同			砂川 忠同 3 構造安定の原理	同
小笠原純他	シミュレーションの基礎	同	土木学会	基礎と地盤	土木学会		村土直男同 4 構造物のクリープ	同
半沢孝雄	設問形式 フォートラン技法集	竹内書店	遠藤三他	地下鉄建設ハンドブック	山海堂		大橋他 同 6 非線形動的弾性学	同
							青木重雄他 直線基礎および橋台・	山海堂

